No. 名	門テーマ i (日本 語)	部門テーマ名 (英語)	オーガナ イザー 氏名	所属	email	部門テーマ概要(日本語)	部門テーマ概要(英語)	ポス ター発 表	公募の有無	備考
権利 1 のス 果	リと効率 トトック効	Infrastructure Stock Effects for Efficiency and Human Rights	小池淳司	神戸大学	koike@lion.k obe-u.ac.jp	的な政策意思決定への関与の仕方により、効率と権利のストック効果 の2種類に分類されるべきである、理論的には前者はサミュエルソン流	Recently, quantitative analysis of infrastructure stock effects is becoming more important for policy evaluations. However, this effect should be divided into two types. One is the definition of public goods by Samuelson, to measure social efficiency. Another one is the definition of Social Common Capital by Uzawa to measure Human Rights. In this special session, we are going to discuss about recent topics and issues of these two types of infrastructure stock effects.	希望しな文の発表のみ)	無し	
	せ代モビリ と道路空	How to use roads by introducing new mobility	浜田誠也	一般財団法 人 道路新 産業開発機 構	hamada@hid	等を勘案し、道路空間を変えることで都市を再生することを目指し、今後 必要となる道路機能・構造を検討してきた。本年は、検討の方向性を ロジック・フィロソフィとして掲げるととは、「安全な利用環境の創出」 「移動システムの多様化」「都市空間との連携・活用」が事業弁の仕組 みづくりの観点から、都市部放び地方部の将来像や利用シーンの実 現時に想定される課題を抽出し、技術・制度・運用の各側面からの解決 方法含含め、得来の道標となる道路空間のありケを提言案として取り 方法含含め、得来の道標となる道路空間のありケを提言案として取り	In this session, road space utilizing new mobility in the future will be discussed. Sr. So far, a study group about road and urban regeneration organized by Highway Industry Development Organization (HIDO) has been studying about new function of road and new road structure for the future considering changes in social needs and utilizing new mobility. Apr.) In addition to the last year discussion, we have compiled a proposal of the ideal road space that will serve as a future guideopst, including solutions from each aspect of technology, systems, and operations. Sp.? We would like to discuss the proposal with the participants and further enhance the content.	希望しな文 ・ 発表の み)	無し	
	き 交通プシングの	Foresight of Public Transport Pricing	宮崎耕輔	香川高等専門学校	miyazaki@t. kagawa- nct.ac.jp	交通プライシング研究小委員会」の概要ならびに問題意識について話	This Special Session will have the discussion about research topics of "Research Subcommittee for Public Transport Pricing" group. Our research questions are "Verification of various theories related to the pricing". "Accumulation of practical examples of public transport pricing". "Institutional verification of public transport pricing". "Ouantitative analysis of public transport pricing" and so on \(\text{ch}\text{P}\) fyou are interested in our research topic, Please join us!	希望しない(論文 外表の み)	無し	このセッションと同時に、「公共交通ブライシング、 「公共交通ブライシング、 成共交通ブライシング、 東美会」として、 でルジョンド公共交通を立 ウンドングルを表す。 ウンドングルを表す。 ウンドングルを表す。 ち上げている内容をそり線、 ますので、一緒に議論 かただければ幸むいで す。
路分 ける 事業	<b>気交通・道</b> ・道の ・道の ・新規ITS ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	Discussion on project making methods for ITS-based regional transport and road renovation	清水哲夫	東京都立大学	t– sim@tmu.ac. jp	の抱える課題やニーズに寄り添ったボトムアップ的取り組みや、それら	The JSCE has studied ITS implementation to regions for 20 years. The recent effort for the last three years focused on networking of academicians and practitioners in regions to install &quotbottom up" ITS implementation, and suggested the need of research on ITS project making method in the next step. This SS will discussed on the next regional ITS businesses and requirements on the project making by inviting several regional ITS stakeholders.	希望しな文の発表の	無し	
	トコロナ 東京都市	Tokyo Metropolitan Area in Post Corona Era	谷口守	筑波大学	mamoru@sk. tsukuba.ac.j p	ろうか。本セッションでは、H30東京都市圏パーソントリップ調査等をはじ	The regional structure of the Tokyo metropolitan area was formed based on a historical background such as the policy of promoting multi-polarization and the urban renaissance, based on the concentration in the central area of Tokyo. In the future, as the population decline is approaching and it is being pointed out that covid-19 will change people's behavior, what is the future regional structure that the Tokyo metropolitan area should aim for? In this session, we will share analysis examples of the latest behavior data including the Tokyo metropolitan area person-trip survey(2018) and discuss the future regional structure of the Tokyo metropolitan area.	希望しな文 の 発表の み)		
事業 6 につ イナ:	トインフラ もの取組 りいファョ で考える	Strategy for Overseas Infrastrucutre Business Opportunities from Financiers' Perspectives	安間匡明	大和証券株式会社	masaaki.am ma@daiwa.c o.jp	日本企業による海外インフラ事業展開にはこれまでも様々な課題が指摘されてきたところであるが、ファイナンスの視点でこの課題を捉えなおしてみるとどのように分析できるだろうか、特に、新興国の合誠に伴い、モノづくりに長けた日本企業の国際的な競争優位性が多くの産業部門ではおいて全般的で表えているなかにあって、同様の課題は設実は外でも指摘されてきたところであるが、産業によっては既にその取り組みが本格化に収集を助げている業界もあれば、選はばの企業もある。海外のインフラ事業展開に携わる最が国産業の課題について改めてファイナンスに携わる者の観点で取り上げる。	Various analysis and prposals have been made on how they should strengthen the international competetiveness of the Japanese-related industries for the overseas infrastructure projects. Thiis session will have a new look at this issue from the financiers' perspectives who had experienced the similar issues of the other Japanese industries.	希望しな い(論文 発表の み)	無し	
の都 7 への 伴う	f的技術 市・地域 が導入に 合意課題 この課題	Consensus building with the introduction of innovative technologies into cities and regions	寺部慎太 郎	東京理科大学	terabe@rs.t us.ac.jp	用者が日々提供する移動や生活行動、健康状態などのデータを前提とする技術では、データ提供者であり利用者である市民の参画やデータ活用についての合意形成は生命線であるが、その課題や方法論については明確ではない。本セッションでは、革新的技術がもたらすであろうべ	The introduction of innovative technologies in cities and regions, including smart cities, is expected to bring great value not only to the form and function of cities and regions, but also to our society and life. It is not easy to build consensus with citizens about the utilization of data such as behavior, daily activities, and health conditions provided by themselves. In this session, we will try to envision the issues in consensus building with stakeholders from various points of view, while taking into consideration the problems hidden behind the benefits that innovative technologies may bring.	希望しな文の発表のみ)	無し	

8	ビリティのマ	COVID19 and Management of Mobility	神田佑亮	呉工業高等 専門学校	y- kanda@kure	新型コロナウイルスの感染症の拡大に伴い、インパウンド観光客の減少や、出控え等による人々の移動の減少が発生している。加えて政府による「家庭を国本の免免や体表要請等の結果、その帰 はたよる「家会事態宣言」の全国への免免や体表要請等の結果、その帰 はたより、家会事態宣言」の全国への免免や体表要請等の結果、その帰 の経営状況も急激に悪化し、個世に大事業者も発生は始なている。。 はからいこうした移動需要の急激な低下により、多くの公共交通事業者 のおど当かいこうした移動需要の急激な低下により、多くの公共交通事業者 のおど当かたこうした移動需要の急激な低下により、多くの公共交通事業者 が経営の危機に立たされおり、また。人々もコレナウイルスの保険を追 が経営の危機に立たされおりまた。人なからいたつのスペシャ ルセッションでは、COVID19がモビリティペクの行動や社会にもたらし の大きでは、COVID19がモビリティペクを行動や社会にもたらし た影響を改めて整理するとともに、レジリエントなモビリティや社会につ いて議論する。	ts se se 希望 い(語 of 発表	文 無	小委員会: 日本モビリティマネジメント会議実 行委員会
9	スマート・ブラ ンニング	Smart Planning	羽藤英二	東京大学大学院		スマート・ブランニング(この) たて、これまで個人単位の行動データ等をも とし、個人の回遊行動を表現する回遊行動シミュレーションモデルの構 製に取り組んできたところである。今後は、回遊シミュレーションモデル をベースに、都市活動を表すアウティビティモデル、土地科用モデルレ の接続を図ると等により補助施策、都市交通施策にかかるシミュレー の接続を図ると等により補助施策、都市交通施策にかかるシミュレー かコンコンアルでは、ママート プランニング(国内な通用事例や今後の方向性について話題提供を行 ップンニング(国内な通用事例や今後の方向性について話題提供を行 ップンニング(国内な通用事例や今後の方向性について話題提供を行 ップンニング(国内な通用等の方々を交えて、今後来たる ペきデータ駆動型社会におけるブランニング手法とその実装方法に関し 就論する。	del. del. ion 希望 い(語 発表	文 無	
10	ポストコロナ の地域づくり とコミュニ ケーション・ 合意形成	Communication and consensus building in post corona community development	榊原弘之	山口大学大 学院	sakaki@yam aguchi-	コロナ湯により、地域のくりにおけるコミュニケーション大きな影響を受け、変化が求められている。生活の中のあらめる活動について再検討が求められている。生活の中のあらめる活動について再検討が求められている。生活の中のあらめる活動について再検討が求められる中で、人々のリスク認識は、「リスク回避・対・リスク受容」のようなニエが内障ではない、諸問題に対して多次の別に分布している。それとスープの場合にはない、諸問題に対して多次の別に分布している。それといるようによったインターディングが多用される中で、発品・デールフェングを関係し、対している。サインドによるコミュニケーションの場に対している。サインリンでは、これまでトンョンの実はされてきている。オセンションでは、これまで参加型計画、合意形成、コミュニケーションのあり方についてで参加型計画、合意形成、コミュニケーションのあり方についてで増加し、今後の地域づくりにおけるコミュニケーションのあり方については増から、今後の地域づくりにおけるコミュニケーションのあり方については増から、今後の地域づくりにおけるコミュニケーションのあり方については関係し、または、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は	s line re 希望 い(語	文 無	